

漁業就業希望者を対象とした各種補助制度

いわた水産アカデミー

岩手の漁業の中核を担う人を育成するため、県内の漁業団体、県や市の漁業担い手育成団体が一丸となり、毎年、「いわた水産アカデミー」を開講しています。



詳細はこちら

- 対象
- 50歳以下の人
 - 研修の修了後、岩手県内に定住して漁業に就業する人
 - 岩手県内で漁業就業している人のうち、漁業の知識や技術を習得し、漁業経営の安定・拡大を図る意思のある人
- 受講料 11万8,800円(入講時に一括納付)

■内容

1年間の研修により、漁業への就業に必要な基礎知識や実践的な技術を習得できます。また、小型船舶操縦士などの免許取得ができる岩手県独自の研修プログラムです。集合研修では、座学講習のほか、現場見学・体験から始まり、演習や現場実習により、漁業に関する知識や技術を学びます。実践研修は、漁業就業を希望する市町村に居住し、指導漁業者の下で、実際の漁業現場での漁労技術を習得します。令和元年度から5年度までに、本アカデミーを修了した10人が大船渡で漁業就業しています。

漁業担い手宿舍整備等支援制度(市補助制度)

宿舍借上を行ういわた水産アカデミー研修生に対して支援する制度です。

■対象 いわた水産アカデミー研修生

■内容 宿舍借上事業
補助率：2分の1
上限48万円(4万円/月 最長1年間)

次世代人材投資(準備型)制度(国補助制度)

いわた水産アカデミーに入講し、漁業研修を受ける人に対して支援する制度です。

■対象

- いわた水産アカデミー研修生
- 原則45歳未満

■内容 上限150万円(2回払い 最長1年間)

漁業担い手資格取得助成制度(基金助成制度)

漁業に関する一部の資格を取得する人に対して助成金を交付する制度です。

■対象

- 45歳未満
- いわた水産アカデミー修了生を除く

■内容 補助率2分の1 上限10万円

沿岸漁業改善資金制度(国補助制度)

漁業経営を開始するための漁船や漁具などの購入資金を無利子で融資する制度です。

▶補助制度に関する問い合わせ先

■市・漁業協同組合補助制度

- 大船渡市漁業就業者確保育成協議会(事務局 大船渡市水産課)(☎内線374、377)
- 市内各沿海漁業協同組合

■国補助制度

- 公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金(☎019-626-3063)
- 岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター(☎27-9915)

市・漁業協同組合補助制度

大船渡市意欲ある浜の担い手支援制度

- 対象 15歳以上50歳未満
- 内容

○新規就業型

漁業に必要な漁船、漁具などの資機材を整備し、漁業経営を開始する人

- 奨励支援：上限50万円(1回払い)
- 資機材整備支援：上限50万円(1回払い)
- 生活支援：上限150万円/年(12万5,000円/月 最長2年間)

○後継ぎ就業型

資機材を継承し、漁業経営を開始する人

- 奨励支援：上限50万円(1回払い)
- 生活支援：上限60万円/年(5万円/月 最長2年間)



「新たな挑戦」

若い漁業者の気概

市や県、漁業協同組合などでは、新たに漁業に挑戦する人たちを支援するため、さまざまな補助事業を実施しています。そのうち「大船渡市意欲ある浜の担い手支援制度」

は、本市で新しく漁業を始める人を支援する制度です。該当すれば、資機材整備費や生活費などに補助金を交付します。この制度を活用しながら、新たに養殖漁業に挑戦している人がいます。

Interview

越喜来漁業協同組合 組合員
さとみ ともや
里見 知哉さん(33)

越喜来漁業協同組合の組合員である里見さんは、養殖漁業を営む父と兄とは別に、新規独立して養殖漁業を始めました。その際、「意欲ある浜の担い手支援制度」の新規就業型を活用しました。



Q 養殖漁業に携わったきっかけを教えてください。

A 父がホタテ養殖を営んでおり、子どもの頃から手伝いをして、「いつかは自分も養殖漁業をやる」と思っていました。高校卒業後、地元の企業に勤めたこともありますが、「やっぱり漁業に携わりたい」と思い、大目流し網漁船、さんま船などに乗り、結婚を機に30歳で養殖漁業に挑戦することにしました。

Q 「やっぱり漁業に携わりたい」と思ったのはなぜですか。

A 小さい頃から父の手伝いをする中で、言葉で言い表すのは難しいですが、漁業に携わっていると血が沸くような瞬間があると感じていました。特にも、魚やウニ、アワビを捕るときなどは、そういうふうになります。この感覚を味わえるのが漁業の魅力です。

Q 補助金などの支援制度はどのように知りましたか。

A 同じように新規で養殖漁業を始めた友人から教えてもらい、漁業協同組合に相談しました。

Q 必要な資機材は、補助金で賄えましたか。

A いいえ。養殖を始めるための資機材は一つ一つの金額が高く、まだ全てをそろえられていません。しかし、父や周りの人に借りながらやっています。船も、後継者がなく漁業をやめられた人から安く譲っていただきました。周りの人たちに助けられています。

Q 実際に、養殖漁業をやった感想は？

A 漁業は、楽しいです。自分の経験ややったことが成果につながります。ここ数年、海水温の上昇など海の状況が変わってきており、思うようにいかないこともあります。誰よりも多く、良い物を作りたい、負けたくないという気持ちがあります。

Q 漁業をはじめの人へのアドバイスはありますか。

A 定置網漁は、ロープの結び方など漁業の基本を多く学べます。漁業を始めるなら、定置網船に乗ることからスタートすると思います。